

松 阪 市 の 環 境

—松阪市環境基本計画年次報告書—

平成 27 年度版

平成 28 年 1 1 月

松阪市環境生活部
環境・エネルギー政策推進課

この報告書は、平成24年3月に策定した「松阪市環境基本計画－中間見直し版－」に掲げた本市の環境施策に関して平成27年度に設定した重点事業の取組結果と、「松阪市環境基本計画－中間見直し版－」において設定した環境目標の進捗状況を取りまとめたものです。

この情報をみなさんと共有することで、市民、市民団体、事業者、市の協働による取り組みをさらに推進することをめざすとともに、一人ひとりが環境問題に対する具体的な行動を起こすきっかけにしたいと考えています。

目次

第1章 松阪市環境基本計画の概要	1
第2章 環境基本計画における環境目標の進捗状況	8
第3章 重点事業の実施状況	17
重点事業 1：森林環境創造事業	19
重点事業 2：未来へつなぐネコギギの里事業	20
重点事業 3：里山の森林安全安心対策事業	21
重点事業 4：市街地循環バス運行事業	22
重点事業 5：関連公共下水道事業（本庁）	23
重点事業 6：関連公共下水道事業（嬉野）	24
重点事業 7：関連公共下水道事業（三雲）	25
重点事業 8：浄化槽設置促進事業	26
重点事業 9：浄化槽市町村整備事業	27
重点事業 10：歴史的建造物公開事業	28
重点事業 11：観光施設整備事業	29
重点事業 12：都市景観推進事業	30
重点事業 13：市道松阪公園桜町線道路整備事業	31
重点事業 14：総合運動公園建設事業	32
重点事業 15：資源物集団回収活動補助金	33
重点事業 16：環境美化対策事業	34
重点事業 17：木質バイオマス有効活用対策事業補助金	35
重点事業 18：地球温暖化防止対策率先実行計画の運用	36
重点事業 19：環境パートナーシップ会議事業	37
重点事業 20：学校エコチャレンジ事業	38
重点事業 21：森林環境学習事業	39
第4章 環境基本計画関連事業一覧	40

第1章 松阪市環境基本計画の概要

1. 計画の概要

家庭や事業所からの排水による川や海の汚れ・ごみの増加、そして地球温暖化による地球環境問題など、今日の環境問題の多くは私たちが便利な生活や物質的な豊かさを追い求めてきた結果であるといえます。

このような環境問題を解決していくためには、私たち一人ひとりが環境にやさしい行動を実践していくことが必要です。

「松阪市環境基本計画」は、本市の良好な環境を未来に引き継いでいけるよう、うるおいある豊かな環境の保全と創造に関する共通目標や道筋を示すものであり、市民、市民団体、事業者、市が協働して環境にやさしい行動に取り組むための指針となる計画です。

松阪市環境基本条例に基づき、当計画を平成19年3月に策定しましたが、策定から5年が経過し、近年の環境や社会情勢が大きく変化していることから見直しを行い、平成24年3月に「松阪市環境基本計画－中間見直し版－」を策定しました。

2. 計画の対象

本計画は松阪市全域を対象地域とし、「自然環境」「生活環境」「快適環境」「地球環境」「環境教育・環境学習と仕組みづくり」の5つの環境分野を設定し、対象としています。

環境の分野	環境の要素
自然環境	水循環（森林・川・海）、身近な動植物
生活環境	典型7公害（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭、地盤沈下）、都市生活型公害（近隣騒音、野焼き、飼養動物のふんなど）
快適環境	歴史文化遺産、景観、公園・緑地、公共空間のバリアフリー
地球環境	省エネルギー・新エネルギー、ごみ・リサイクル、地球温暖化
環境教育・環境学習と仕組みづくり	環境教育及び環境学習の充実、協働のための仕組みづくり

3. 計画の期間

平成19（2007）年度～平成29（2017）年度

4. めざすべき環境像

**うるおいある
豊かな環境につつまれるまち
まつさか**
～自然と人・地域の活力が好循環する
まちづくりをめざして～



「うるおいある豊かな環境につつまれるまち まつさか」は、松阪市環境基本条例におけるめざすべき環境像「うるおいある豊かな環境の保全と創造」と、『まちしるべ『市民みんなの道標』～未来につなげるまちづくり計画～』（松阪市総合計画）における松阪市の将来像「市民みんなで幸せを実感できるまち」を実現するための6つのキーワードの一つ「心がうるおう環境を」を踏まえ、設定しています。

うるおいある豊かな環境とは

人と自然の営みが調和し、その中に生まれた独自の歴史や文化が守られ育まれる中で、現在及び将来の市民が健康を維持し、安全で快適かつ文化的な生活をおくることができる環境をいう。

（松阪市環境基本条例より）

人の心がうるおう環境につつまれるまち

当たり前にある身近な環境が、次の世代まで心がうるおう素敵な環境になるよう、市民と行政が一体となって保全と創造に取り組みます。

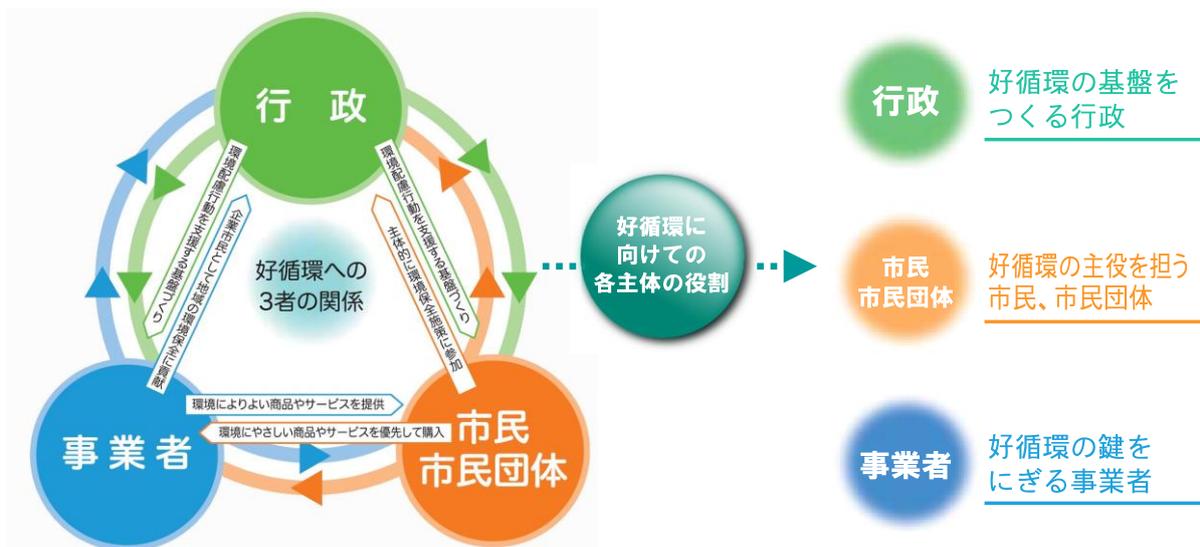
（まちしるべ『市民みんなの道標』～未来へつなげるまちづくり計画～の将来像を実現するための6つのキーワードより）

また、環境をよくすることが地域の産業を発展させ、地域の産業の活性化が環境をよくするという「環境と地域経済の好循環」を進めること、そして、環境をよくすることが人や地域を元気づけ、コミュニティの活性化が環境をよくするという「環境とコミュニティの好循環」を進めることが、本市の環境像を実現するために必要であることから、「自然と人・地域の活力が好循環するまちづくりをめざして」という副題を掲げています。



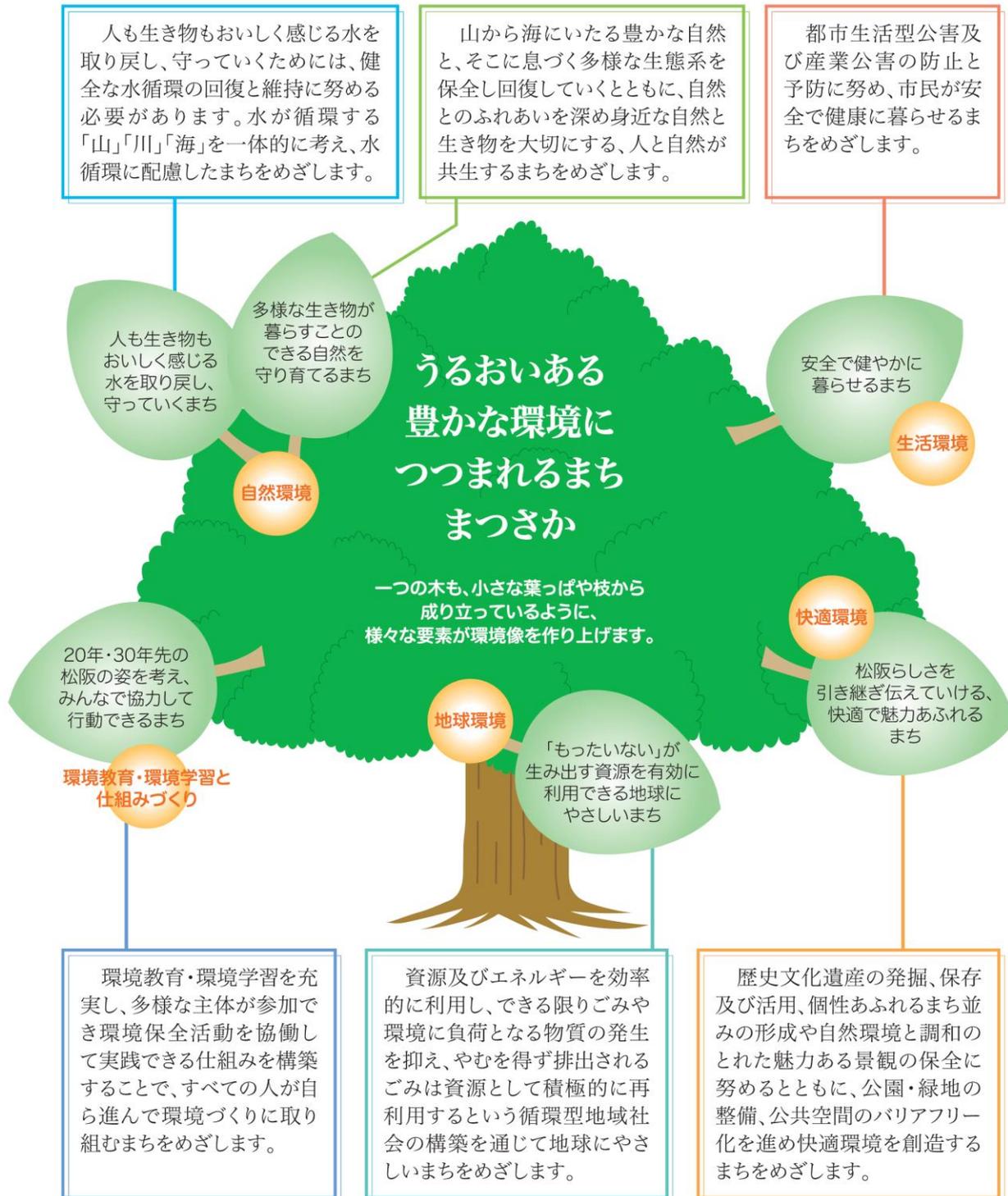
5. 環境像実現に向けての基本的な考え方

「うるおいある豊かな環境」の実現に向けて、自然と人・地域の活力が「好循環」するためには、行政とともに「環境と地域経済の好循環」の主体である「事業者」、「環境とコミュニティの好循環」の主体である「市民、市民団体」も含めた3者の協働のもと取り組みを進めていくことが大切です。



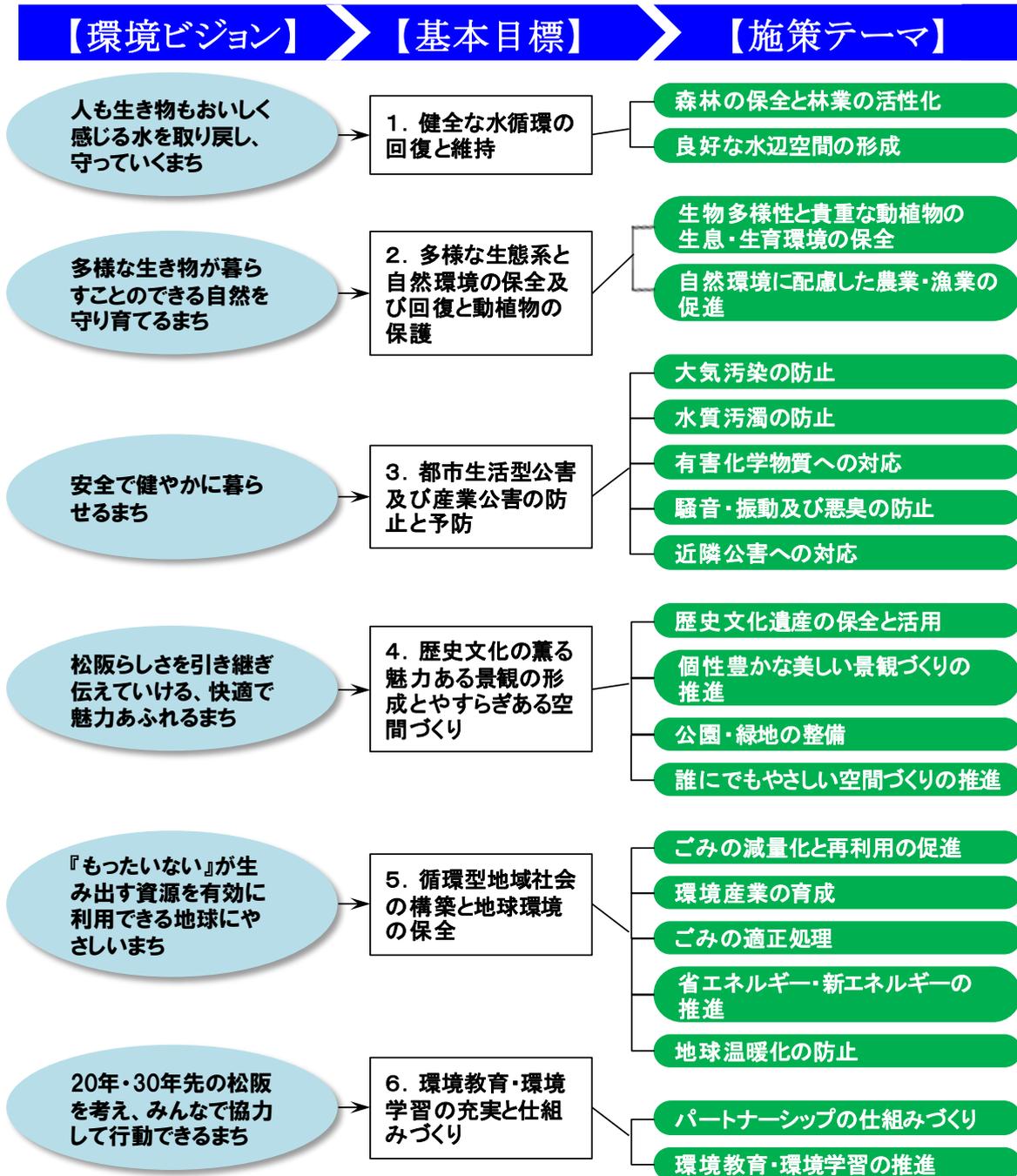
6. 環境ビジョン

「うるおいある豊かな環境」をめざすにあたり、次の6つの具体的なまちの姿（環境ビジョン）を示しています。



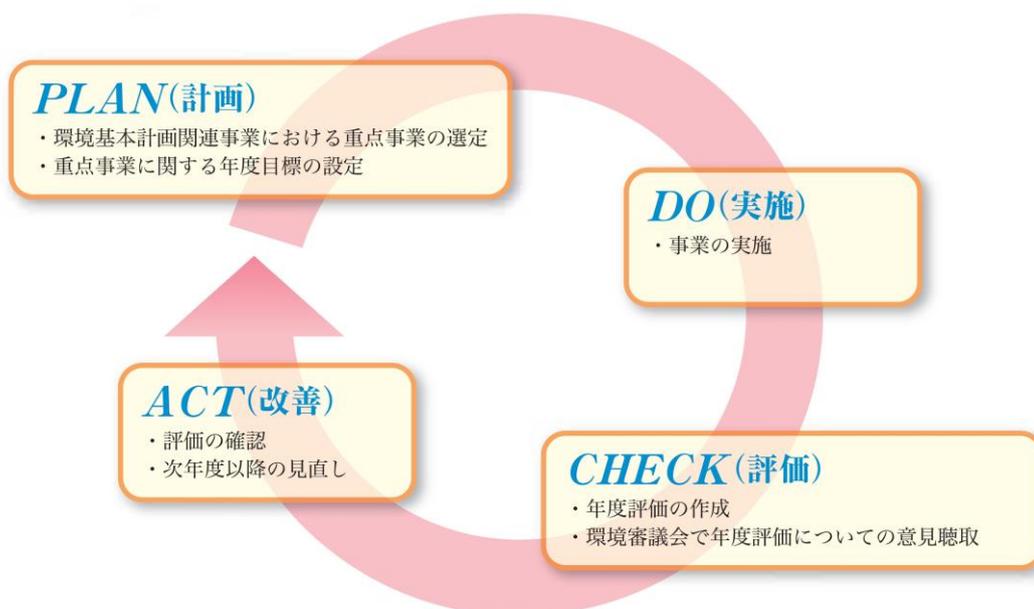
7. 施策の展開の体系

環境ビジョンに示したまちの実現に向け、6つの基本目標を掲げるとともに、20の施策を展開しています。



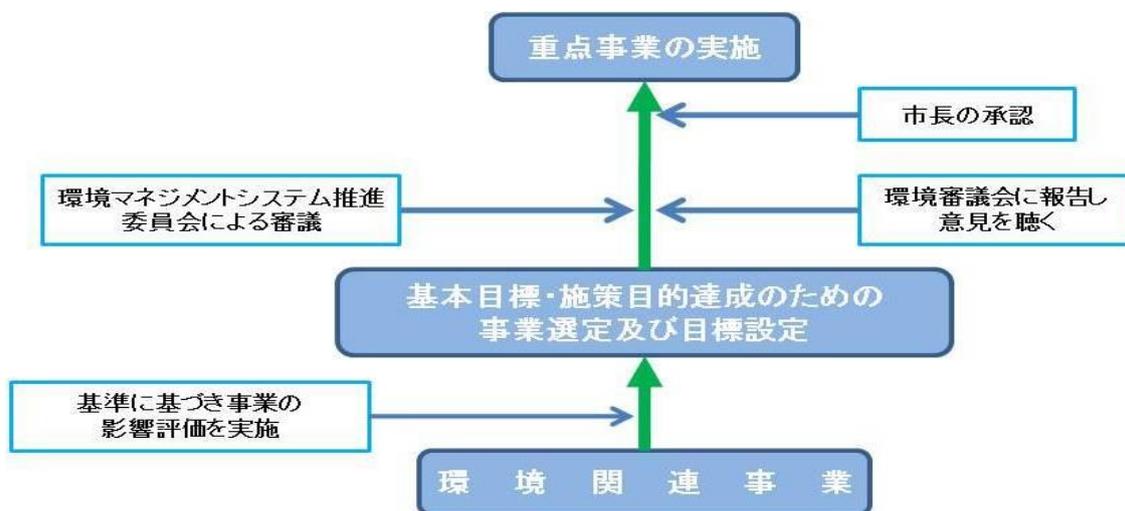
8. 計画の推進

進行管理にあたっては、平成23年度から運用している本市独自の環境マネジメントシステム「Matsusaka-EMS」を活用し、本計画を効果的かつ効率的に推進します。そして、Matsusaka-EMSのPDCAサイクルのもと継続的に改善していきます。



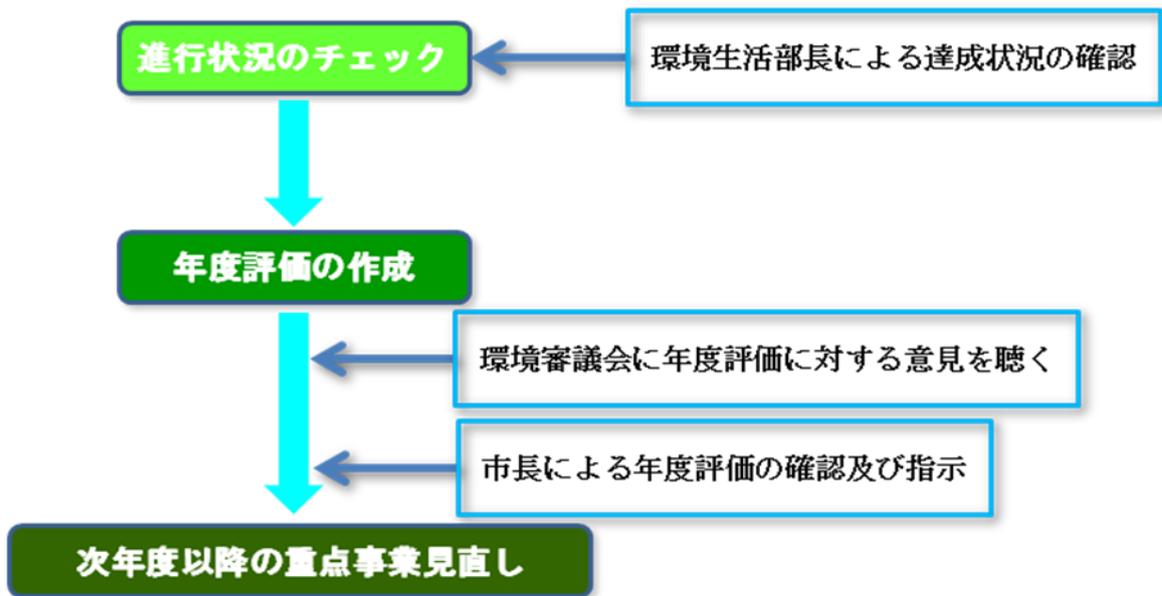
《進行管理の仕組み》

環境施策に関する事業の担当部署ごとに、本計画に関連する事業の一覧を作成し、その内容を環境・エネルギー政策推進課において本計画の施策体系に基づいて整理を行います（「第4章 環境基本計画関連事業一覧」を参照）。その中から、①本計画の環境目標（「第2章 環境基本計画における環境目標の進捗状況」を参照）に関連性の高い事業、②長期的に実施する事業で、本計画の基本目標の達成に効果的な事業、の2点のいずれかに該当する事業を中心に、特に重要な事業（以下「重点事業」という）の選定を行います。



重点事業として選定された事業の担当部署は、重点事業ごとにその事業の年度目標を設定します。そして年度末に、年度目標に対する自己評価を行い、環境生活部長に報告します。

重点事業の事業概要と年度目標の内容、そして年度評価については、環境審議会に報告し意見を求めます。年度評価はまた、環境審議会の意見を付して市長に報告し、次年度以降の見直しに生かします。



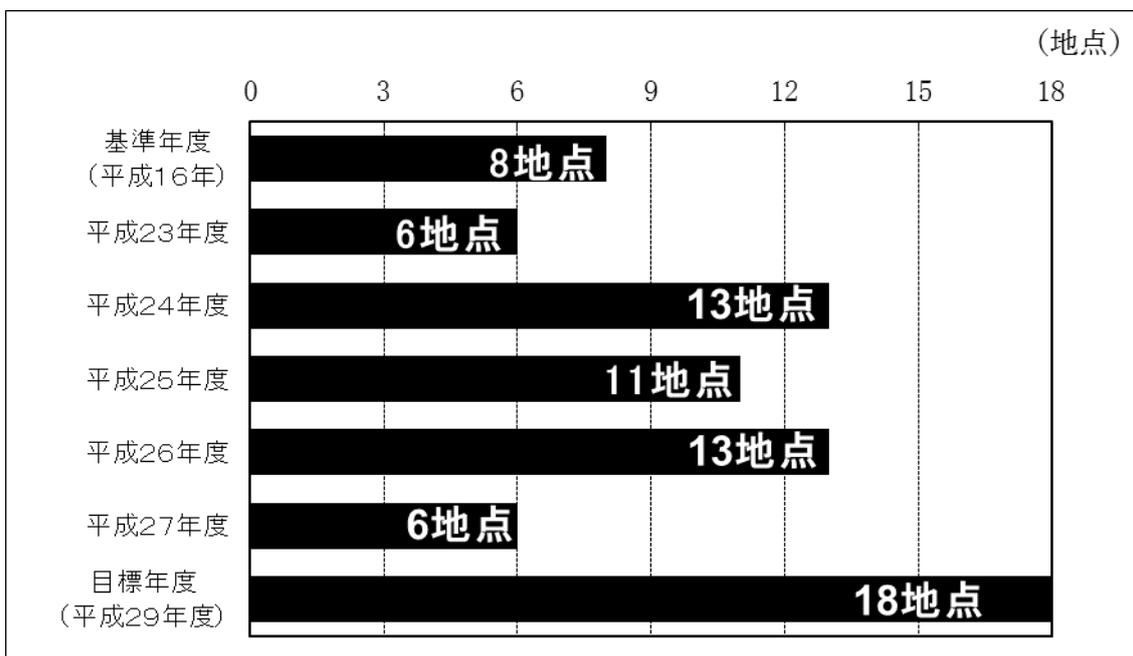
第2章 環境基本計画における環境目標の進捗状況

めざすべき環境像の実現のためには、市民、市民団体、事業者、市がみんなで共有できる目標をもつ必要があります。

そこで、環境ビジョンで示す6つのまちの姿をめざすため8つの環境目標を設定し、その目標が達成できたかどうかを判断するために、各々に目標数値を定めています。

平成27年度における各環境目標の進捗状況は次の通りです。

①. 川・海におけるBOD・CODの環境基準適合率の向上



河川におけるBOD環境基準適合状況 (平成27年度)

類型	基準値	地点名	適合日数	測定結果範囲	適合率
A A	1mg/L 以下	榑田川 犬飼	2	0.6~1.6	33%
		榑田川 神殿	2	0.6~1.9	33%
		榑田川 析川潜水橋	2	0.6~1.7	33%
		榑田川 深野潜水橋	2	0.5未満~1.8	33%
		中村川 小原町中組橋	4	0.5未満~2.6	67%
		中村川 宮野橋	4	0.5未満~5.5	67%
A	2mg/L 以下	榑田川 法田井堰	6	0.9~1.9	100%
		榑田川 松名瀬橋	3	0.7~5.2	50%
		阪内川 宮橋	5	0.5未満~2.8	83%
B	3mg/L 以下	阪内川 五曲橋	5	0.6~6.1	83%
		阪内川 獵師橋	6	0.7~2.7	100%
D	8mg/L 以下	金剛川 焼橋	6	2.6~5.2	100%
		金剛川 金剛橋	6	2.3~4.9	100%
計			53	—	—

※各地点において、1年間で6日測定を行った。

海域におけるCOD環境基準適合状況（平成27年度）

類型	基準値	地点名	適合日数	測定結果範囲	適合率
B	3mg/L 以下	松名瀬橋松世崎地先 1,000m	3	2.5~4.0	75%
		松阪港沖 500m	1	1.4~5.2	25%
		松阪港沖 2,000m	3	0.7~4.4	75%
		狹師町大正新田地先 1,000m	2	0.9~3.6	50%
		狹師港沖 500m	2	1.2~4.4	50%
計			11	—	—

※各地点において、1年間で4日測定を行った。

目標基準（河川100%、海域75%以上）の達成地点数の推移

	基準達成地点数 ／ 測定地点数 (地点)	河川における	海域における
		基準達成地点数 ／ 測定地点数	基準達成地点数 ／ 測定地点数
基準年度 (平成16年度)	8 / 15	3 / 10	5 / 5
平成23年度	6 / 18	1 / 13	5 / 5
平成24年度	13 / 18	8 / 13	5 / 5
平成25年度	11 / 18	6 / 13	5 / 5
平成26年度	13 / 18	8 / 13	5 / 5
平成27年度	6 / 18	4 / 13	2 / 5
目標年度 (平成29年度)	18 / 18 (全地点)	13 / 13 (全地点)	5 / 5 (全地点)

平成27年度の測定では、18地点中6地点で環境基準適合率の目標基準を達成しました。

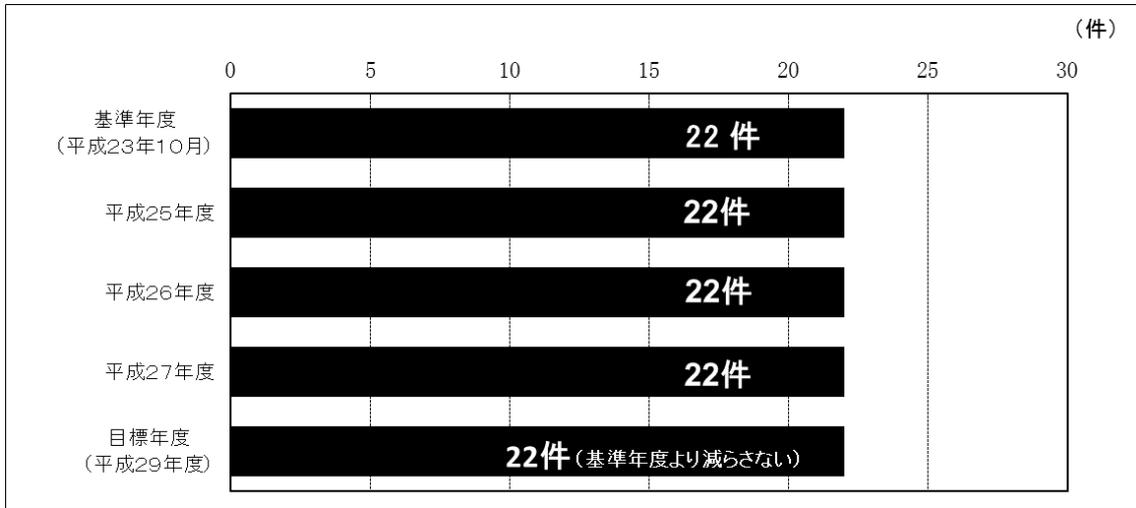
用語解説

BOD（生物化学的酸素要求量）…水中の有機物を微生物等が分解する際に使う酸素の量を表す数値で、この量が多いほど水中の有機物が多いことになり汚れていると判断される。

COD（化学的酸素要求量）…水中の有機物を薬品で化学的に分解させ、そのときに消費された薬品中の酸素の量で有機物の量を示す。この量が多いほど水中の有機物が多いことになり汚れていると判断される。

水域類型…水質汚濁に係る環境基準のうち、生活環境の基準については、河川、湖沼、海域別基準に利水目的に応じた水域を区切ってAA、A、B、C、D、Eの6つの類型を設けている。pH、BOD等の項目について、それぞれの水域類型ごとに環境基準値を定め、各公共用水域に水域類型のあてはめを行うことにより当該水域の環境基準値が具体的に示される。

②. 天然記念物数の維持



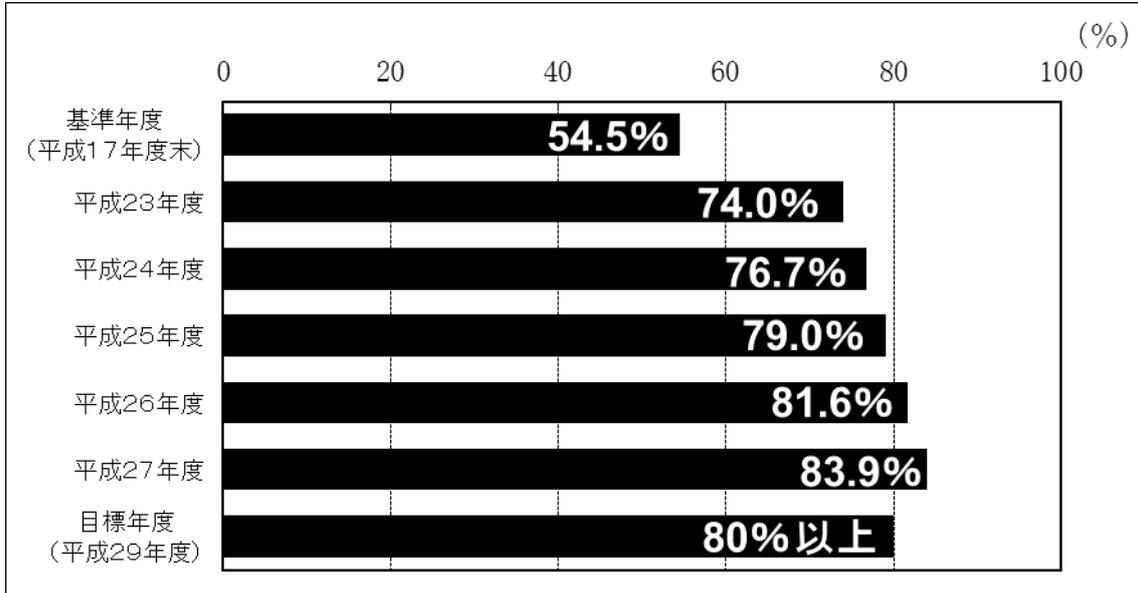
天然記念物数の推移

	天然記念物数 (件)	指定		
		国指定	県指定	市指定
基準年度 (平成23年10月時点)	22	7	5	10
平成25年度	22	7	5	10
平成26年度	22	7	5	10
平成27年度	22	7	5	10
目標年度 (平成29年度)	22件 (基準年度値より減らさない)	—	—	—

天然記念物一覧

指定	記念物名	地域	指定	記念物名	地域
国	不動院ムカデラン群落	本庁管内	市	阿射加神社社叢	本庁管内
	中村川ネコギギ生息地	嬉野管内		松尾のママナシ	
	月出の中央構造線	飯高管内		エドヒガン桜	飯南管内
	ニホンカモシカ	地域を定めず		山茶花	
	ネコギギ			つばき(オランダ紅)	
	ヤマネ			東漸寺のゴヨウマツ	
	コクガン			旧川俣小学校跡街道松	
県	勢津のフウラン群落	本庁管内	福本の大トチノキ	飯高管内	
	水屋の大クス	飯高管内	黒瀧神社の夫婦スギ		
	蓮のムシトリスミレ群落	地域を定めず	青田の大カシ		
	オオダイガハラサンショウウオ				
	伊勢撫子・伊勢菊・伊勢菖蒲				

③. 生活排水処理施設の普及率の向上



※生活排水処理施設の普及率 (%) = [生活排水処理施設による処理が可能な地域の居住人口 (または処理人口) ÷ 基準となる総人口] × 100

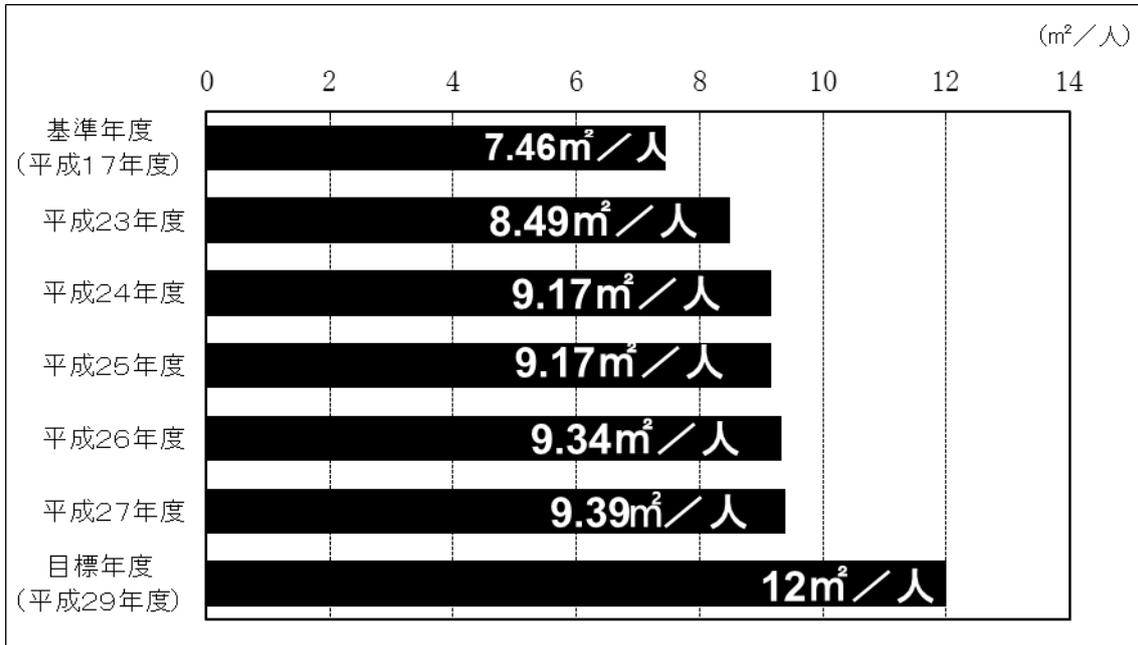
生活排水処理施設における処理人口と普及率の推移

	生活排水処理施設の普及率 (%)	基準となる総人口 ※ (人)	生活排水処理施設処理人口の合計 (人)	公共下水道における処理人口 (人)	農業集落排水施設による処理人口 (人)	合併処理浄化槽による処理人口 (人)	
						市町村設置型浄化槽	個別設置型浄化槽
基準年度 (平成17年度末)	54.5	170,545	93,010	48,704	1,186	5,119	38,001
平成23年度末	74.0	169,923	125,723	75,489	1,121	6,496	42,617
平成24年度末	76.7	169,681	130,114	78,726	1,095	7,461	42,832
平成25年度末	79.0	168,987	133,554	80,693	1,078	7,582	44,201
平成26年度末	81.6	168,163	137,245	84,366	1,057	7,690	44,132
平成27年度末	83.9	167,047	140,178	86,781	1,012	7,803	44,582
目標年度 (平成29年度)	80以上	—	—	—	—	—	—

※基準となる総人口は、住民基本台帳に基づく翌年度4月1日現在による。

平成27年度末における生活排水処理施設の普及率は、公共下水道における処理人口が大きく増加し、83.9%となりました。

④. 1人あたりの都市公園面積の増加



※1人あたりの都市公園面積 (m²/人) = 都市公園開設面積 ÷ 都市計画区域内人口

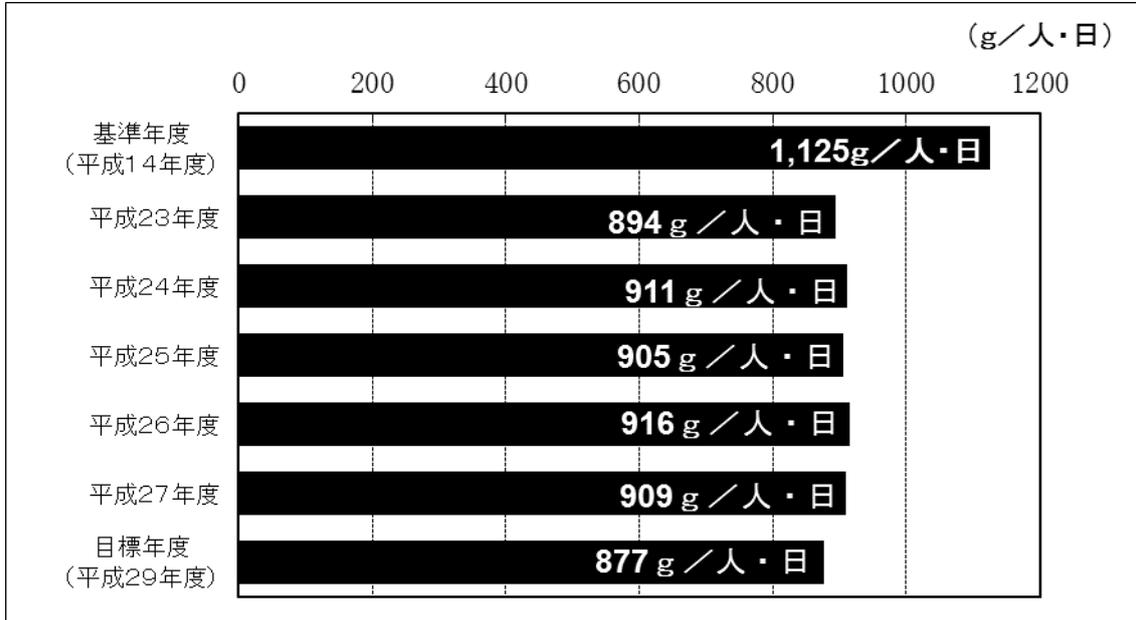
1人あたりの都市公園面積の推移

	1人あたりの 都市公園面積 (m ² /人)	都市計画区域内人口	
		※ (人)	都市公園開設面積 (m ²)
基準年度 (平成17年度)	7.46	150,665	1,124,690
平成23年度	8.49	153,927	1,307,266
平成24年度	9.17	153,871	1,410,855
平成25年度	9.17	154,007	1,412,338
平成26年度	9.34	153,634	1,434,284
平成27年度	9.39	153,163	1,437,554
目標年度 (平成29年度)	12	—	—

※都市計画区域内人口は、「松阪市の都市計画概要」に基づく各年度4月1日現在による。

平成27年度は、松阪市総合運動公園の供用開始により、1人当たりの都市公園面積は増加しました。

⑤. 1人1日あたりのごみの排出量の削減



※1人1日あたりのごみの排出量 (g/人・日) =

$$\frac{\text{集団回収量を除くごみの総排出量}}{\text{(処理人口} \times 365 \text{日)}}$$

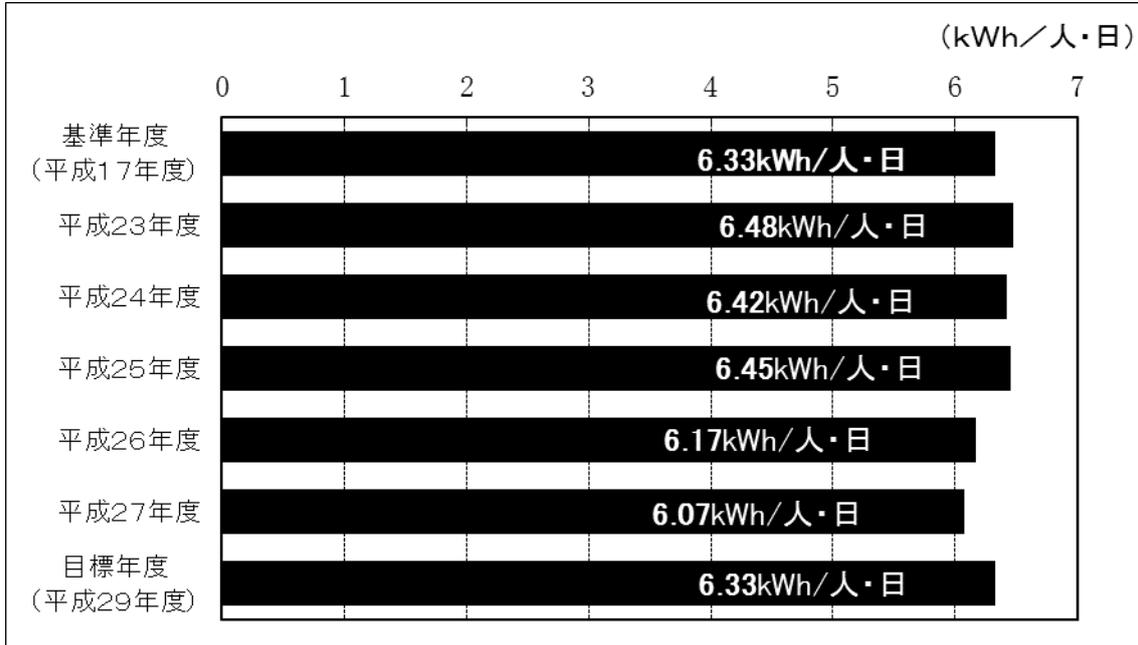
1人1日あたりのごみの排出量の推移

	1人1日あたりのごみの排出量 (g/人・日)	ごみの総排出量 (t)	
		処理人口 ※ (人)	
基準年度 (平成14年度)	1,125	168,635	69,220
平成23年度	894	169,923	55,476
平成24年度	911	169,681	56,415
平成25年度	905	168,987	55,829
平成26年度	916	168,163	56,198
平成27年度	909	167,047	55,553
目標年度 (平成29年度)	877 (基準年度比22%削減)	—	—

※処理人口は、住民基本台帳に基づく翌年度4月1日現在による。

平成27年度は、4月からごみ処理が一元化されたことなどにより、総排出量が減少しました。

⑥. 1人1日あたりのエネルギー（電気）消費量の削減



※1人1日あたりのエネルギー（電気）消費量 (kWh/人・日) = 中部電力における市域の販売電力量 (電灯) ÷ (人口 × 365日)

1人1日あたりのエネルギー（電気）消費量の推移

	1人1日あたりの 電気消費量 (kWh/人・日)	電灯販売電力量 (kWh)	
		人口 ※ (人)	
基準年度 (平成17年度)	6.33	168,976	390,125,000
平成23年度	6.48	167,568	396,126,000
平成24年度	6.42	167,095	391,537,000
平成25年度	6.45	166,795	392,809,000
平成26年度	6.17	166,099	374,115,000
平成27年度	6.07	163,863	363,742,000
目標年度 (平成29年度)	6.33 (基準年度値より 増やさない)	—	—

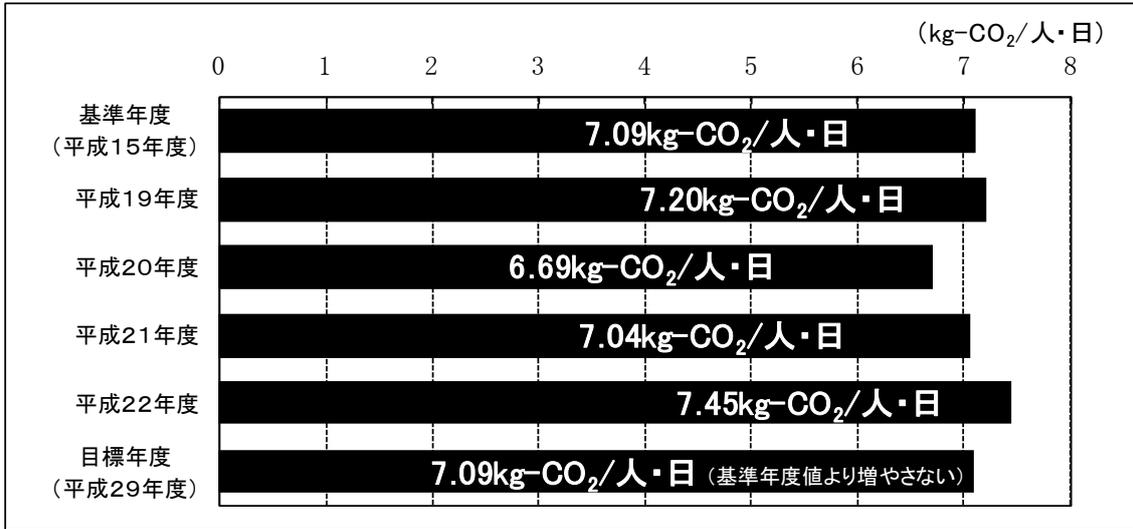
資料：中部電力株式会社提供

※人口は、「三重県統計書」に基づく各年度10月1日現在による。

ただし、平成27年度は国勢調査による。

平成27年度は、冬季の気温が前年に比べ高めに推移したことによる暖房設備の稼働減などにより、1人1日あたりの電気消費量は減少しました。

⑦. 1人1日あたりの二酸化炭素排出量の削減



※1人1日あたりの二酸化炭素総排出量 (kg-CO₂/人・日) =
民生部門 (家庭・業務) における年間の二酸化炭素総排出量 ÷ (人口 × 365日)

1人1日あたりの二酸化炭素排出量の推移

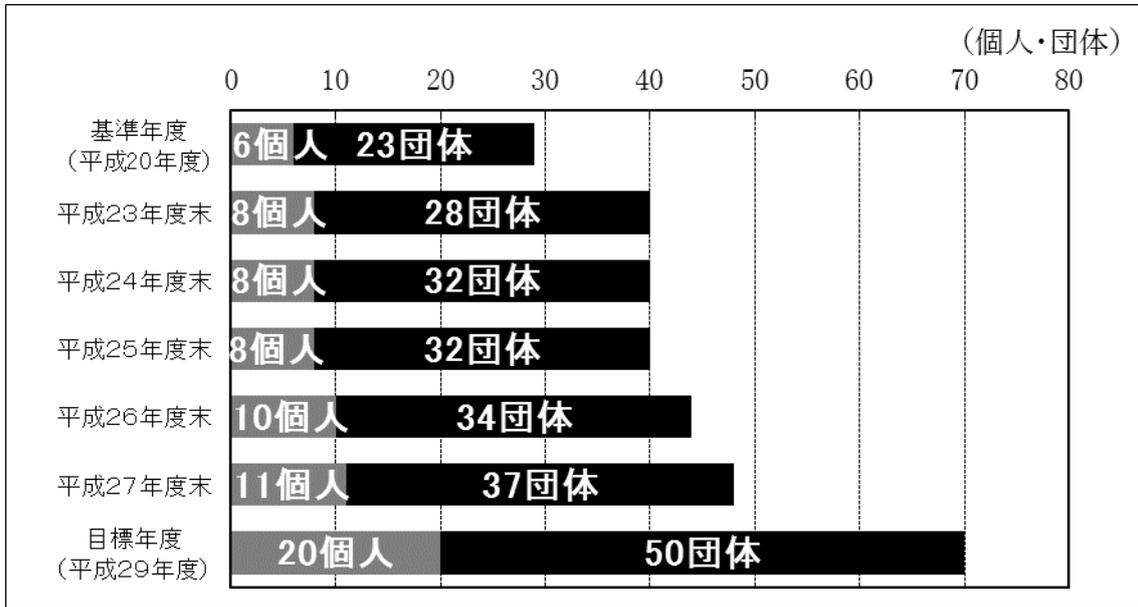
	1人1日あたりの二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /人・日)	人口 (人) ※	民生合計 CO2 排出量 (t-CO ₂)	家庭 CO2 排出量 (t-CO ₂)	業務 CO2 排出量 (t-CO ₂)
基準年度 (平成15年度)	7.09	167,682	434,415	240,592	193,823
平成19年度	7.20	169,462	445,625	223,235	222,390
平成20年度	6.69	169,009	412,935	202,015	210,920
平成21年度	7.04	168,969	434,193	194,919	239,274
平成22年度	7.45	167,611	455,574	214,341	241,233
目標年度 (平成29年度)	7.09 (基準年度値より増やさない)	—	—	—	—

資料：環境自治体会議

※人口は、「三重県統計書」に基づく翌年度4月1日現在による。

市域における二酸化炭素の排出量の算定が非常に困難であるため、環境省の補助を受けて環境自治体会議が行った「市町村別温室効果ガス排出量推計データ」(2003年)の推計結果をもとに目標値を設定しています。平成19年度以降の数値については、環境自治体会議環境政策研究所が行った「全国市区町村別CO₂排出量推計」の推計結果をもとに算定したもので、平成22年度分まで発行されています。なお、それぞれの推計方法には異なる部分があります。
※平成23年度分以降は未発行です。

⑧. 松阪市環境パートナーシップ会議の会員数の増加



松阪市環境パートナーシップ会議の会員数の推移

	会員数 (個人・団体)	
	個人 (市民)	団体 (市民団体、事業者)
基準年度 (平成 20 年度：設立時)	6	23
平成 23 年度末	8	32
平成 24 年度末	8	32
平成 25 年度末	8	32
平成 26 年度末	10	34
平成 27 年度末	11	37
目標年度 (平成 29 年度)	20	50

平成 27 年度は、1 個人・2 市民団体・1 事業者が新たに加入し、4 個人・団体増加の 11 個人・37 団体となりました。

第3章 重点事業の実施状況

平成27年度重点事業、事業目標及び実績一覧

施策テーマ	重点事業名	平成27年度 事業目標	平成27年度 実績	担当部署
【基本目標】 1. 健全な水循環の回復と維持				
森林の保全と 林業の活性化	森林環境創造事業	間伐施業実施面積：200ha	153.64ha	産業経済部 林業・農山村 振興課
【基本目標】 2. 多様な生態系と自然環境の保全及び回復と動植物の保護				
生物多様性と 貴重な動植物 の生息・生育環 境の保全	未来へつなぐネ コギギの里事業	「ネコギギ」の保護意識向 上、自然環境の保全に向け た取組の実施	中村川自然観察会を 2回開催	嬉野地域振興局 地域振興課
	里山の森林安全 安心対策事業	間伐実施箇所：4箇所	6箇所	産業経済部 林業・農山村 振興課
【基本目標】 3. 都市生活型公害及び産業公害の防止と予防				
大気汚染の防 止	市街地循環バス 運行事業	年間利用者数：90,000人	89,837人	産業経済部 交通政策室
水質汚濁の防 止	関連公共下水道 事業（本庁）	下水道接続件数：600件	547件	上下水道部 下水道建設課
	関連公共下水道 事業（嬉野）	下水道接続件数：50件	114件	上下水道部 北部上下水道事 務所
	関連公共下水道 事業（三雲）	下水道接続件数：100件	130件	上下水道部 北部上下水道事 務所
	浄化槽設置促進 事業	補助基数（転換）：130基 以上	108基	環境生活部 環境・エネルギー 政策推進課
	浄化槽市町村整 備事業	合併処理浄化槽設置基 数：50基	36基	環境生活部 飯南・飯高環境 事務所
【基本目標】 4. 歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり				
歴史文化遺産 の保全と活用	歴史的建造物公 開事業	旧長谷川邸公開日数：66 日 来場者数：8,000名	66日公開、14,398名 来場	教育委員会事務局 文化課
	観光施設整備事 業	地質調査、展示資料調査、 運営基本計画調査、新築工 事設計、展示設計の実施	展示調査、設計事務 等を実施	産業経済部 観光交流課

施策テーマ	重点事業名	平成27年度 事業目標	平成27年度 実績	担当部署
【基本目標】 4. 歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり				
個性豊かな美しい景観づくりの推進	都市景観推進事業	巡回展示：7か所 景観重点地区（候補）交流会：1回	展示7か所、交流会1回	都市整備部 都市計画課
	市道松阪公園桜町線道路整備事業	ポケットパーク整備工事の完成	予定通り完成	都市整備部 都市計画課
公園・緑地の整備	総合運動公園建設事業	総合運動公園の整備	スケジュールどおり整備を進めることができた	都市整備部 土木課
【基本目標】 5. 循環型地域社会の構築と地球環境の保全				
ごみの減量化と再利用の促進	資源物集団回収活動補助金	補助金交付団体数：320団体	318団体	環境生活部 清掃政策課
ごみの適正処理	環境美化対策事業	路上喫煙禁止区域の状況確認及び条例と禁止区域を周知するための啓発	禁止区域の巡回及びホームページ等による啓発を実施	環境生活部 環境・エネルギー政策推進課
省エネルギー・新エネルギーの推進	木質バイオマス有効活用対策事業補助金	補助間伐材量：7,000t	14,000t	産業経済部 林業・農山村振興課
地球温暖化の防止	地球温暖化対策率先実行計画の運用	温室効果ガス排出量：平成22年度比5%削減	11.0%削減	環境生活部 環境・エネルギー政策推進課
【基本目標】 6. 環境教育・環境学習の充実と仕組みづくり				
パートナーシップの仕組みづくり	環境パートナーシップ会議事業	会員数：53個人・団体	48個人・団体	環境生活部 環境・エネルギー政策推進課
環境教育・環境学習の推進	学校エコチャレンジ事業	学校環境ISO認定校更新：17校・21園	16校・20園更新 ※1校は統合のため更新せず	教育委員会事務局 学校支援課
	森林環境学習事業	森林環境学習：2校	2校	産業経済部 林業・農山村振興課

重点事業 1 森林環境創造事業

【産業経済部林業・農山村振興課】

基本目標 1. 健全な水循環の回復と維持

施策テーマ……森林の保全と林業の活性化

【事業内容】

森林所有者と認定林業事業者間で、管理委託契約している森林を公共財として位置づけ、環境林整備である継続的な間伐を行うことで、荒廃した森林内に光を入れ、下草や広葉樹を育成し、針広混交林を造成することにより、水源かん養、地球温暖化防止、土砂災害防止などの公益的機能の高度発揮を促進する。

【平成27年度の事業目標】

環境林における間伐等を実施する。間伐施業実施面積：200ha

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

環境林における間伐を実施し、概ね目標を達成した。次年度以降も、森林の公益的機能を発揮するために間伐を実施していく必要がある。施業実施面積は153.64haであった。年度目標の面積は施業実施可能な面積を表しており、面積的に100%施業実施することを目標としておらず、継続的な間伐を行うことを目標としているため、目標達成とする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標	施業実施面積 230ha	施業実施面積 224.50ha	施業実施面積 200.00ha
実績	施業実施面積 258.77ha	施業実施面積 206.31ha	施業実施面積 153.64ha



重点事業 2

未来へつなぐネコギギの里事業

【嬉野地域振興局地域振興課】

基本目標 2. 多様な生態系と自然環境の保全及び回復と動植物の保護

施策テーマ……生物多様性と貴重な動植物の生息・
生育環境の保全

【事業内容】

全国初となるネコギギ生息地指定を受けた嬉野合ヶ野から嬉野矢下間の中村川に生息する天然記念物ネコギギが、減少することのないよう地域での保護意識の向上と美しい河川と周辺の豊かな自然環境を未来の子供たちに受け継ぐことを目的とした取り組みや自然観察会を実施する。

【平成27年度の事業目標】

天然記念物「ネコギギ」の保護意識向上、自然環境の保全に向けた取組を行う。
観察会参加人数 豊田小学校児童：25名、一般親子：30名

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

中村川に生息する天然記念物ネコギギを地域での保護意識の向上と美しい河川と周辺の豊かな自然環境を未来の子供たちに受け継ぐ取り組みとして、小学生と親子を対象とした自然観察会を開催し、25名の児童と22名の一般親子が参加した。なお、目標にある一般親子30名は参加可能最大人数であり、22名の参加でネコギギの保護意識向上につながったと考えられることから目標達成とする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標	天然記念物「ネコギギ」の保護意識向上、自然環境の保全に向けた取り組みを行う	天然記念物「ネコギギ」の保護意識向上、自然環境の保全に向けた取組を行う	天然記念物「ネコギギ」の保護意識向上、自然環境の保全に向けた取組を行う
実 績	中村川自然観察会（ネコギギ観察会）を開催した（小学生・親子を対象とし2回開催）	中川小学校の小学生を対象として勉強会を開催した	中村川自然観察会（ネコギギ観察会）を開催した（小学生・親子を対象とし2回開催）

重点事業 3

里山の森林安全安心対策事業

【産業経済部林業・農山村振興課】

基本目標 2. 多様な生態系と自然環境の保全及び回復と動植物の保護

施策テーマ……生物多様性と貴重な動植物の生息・
生育環境の保全

【事業内容】

集落や公共施設周辺の森林で、森林所有者や地域の自主防災組織と連携し、集落の安全安心を確保するために間伐等を行うことで、水源かん養、地球温暖化防止、土砂災害防止などの公益的機能の高度発揮を促進する。

【平成27年度の事業目標】

集落や公共施設周辺の森林で、間伐等を行う。間伐実施箇所：4箇所

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

集落や公共施設周辺の6地域の森林で、間伐等を行うことにより、身近な自然環境である里山環境の保全と回復を図った。次年度以降も、集落の安全安心を確保すること、生物多様性と貴重な動植物の生息・生育環境を保全することを目的とし、継続して間伐を実施していく必要がある。(間伐実施箇所：6箇所)

	平成26年度	平成27年度
目標	森林整備面積：27ha	間伐実施箇所：4箇所
実績	森林整備面積：4.34ha	間伐実施箇所：6箇所

重点事業 4 市街地循環バス運行事業

【産業経済部交通政策室】

基本目標 3. 都市生活型公害及び産業公害の防止と予防

施策テーマ……大気汚染の防止

【事業内容】

市街地循環線「鈴の音バス」を運行することにより、「中心市街地における交流活動と市街地商業等の活性化」「高齢者などの通院・買物等に対する移動手段の確保」「地域間における住民のコミュニケーションの促進」「自動車の比率を抑え、安全で住みよい交通社会の実現」「環境負荷の軽減」を実現する。

【平成27年度の事業目標】

鈴の音バスの利用を促進する。年間利用者数：90,000人

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 **目標未達成**

平成27年度実績は89,837人となり、前年度から3,045人の増加となったが、年度目標はわずかながら未達成であった。運行開始から10年が経過し、市民の移動手段として定着しつつある。利用者も増加傾向で推移しており、今後も利用促進を図り、市民の移動手段として、自家用車への過度の依存から、適度な公共交通の利用に転換が進むよう啓発を行っていく必要がある。

【次年度以降の改善策等】

新健康センター（仮称）の建設が進められており、当センターへのバス停設置を検討していく。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標	年間利用者数 85,000人	年間利用者数 90,000人	年間利用者数 90,000人
実績	年間利用者数 85,463人	年間利用者数 86,792人	年間利用者数 89,837人

重点事業5 関連公共下水道事業（本庁）

【上下水道部下水道建設課】

基本目標 3. 都市生活型公害及び産業公害の防止と予防

施策テーマ……水質汚濁の防止

【事業内容】

水質汚濁防止のため、各家庭や事業場からの雑排水の公共下水道への接続を促進し、水環境の改善を図る。

【平成27年度の事業目標】

本庁管内の下水道接続件数を600件以上とする。

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 **目標未達成**

平成27年度の接続件数は547件であった。昨年度と比較して35件増えているが、消費増税以降個人消費が伸びていない中、設備への投資意欲が伸びていないことが原因と考えている。

【次年度以降の改善策等】

過去5年の状況から、目標値の再設定と来年度以降は、接続啓発の強化を行い、目標達成に向け取り組む。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標	接続件数 600件	接続件数 600件	接続件数 600件
実績	接続件数 673件	接続件数 512件	接続件数 547件



重点事業 6 関連公共下水道事業（嬉野）

【上下水道部北部上下水道事務所】

基本目標 3. 都市生活型公害及び産業公害の防止と予防

施策テーマ……水質汚濁の防止

【事業内容】

水洗化の促進事業。新たに供用開始する区域の居住者に対し、広報等により供用開始区域等についての周知を行う。

未接続世帯について個別訪問を行い、下水道への早期接続を促す。

【平成27年度の事業目標】

嬉野管内の下水道接続件数を50件以上とする。

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

平成27年度の接続件数が114件あり、未接続世帯の戸別訪問、下水道の日PR活動などが反映したものと思われる。今後も広報、戸別訪問などPR活動により、啓発を行っていききたい。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標	接続件数 70件	接続件数 70件	接続件数 50件
実 績	接続件数 184件	接続件数 130件	接続件数 114件

重点事業 7 関連公共下水道事業（三雲）

【上下水道部北部上下水道事務所】

基本目標 3. 都市生活型公害及び産業公害の防止と予防

施策テーマ……水質汚濁の防止

【事業内容】

水洗化の促進事業。新たに供用開始する区域の居住者に対し、広報等により供用開始区域等についての周知を行う。

未接続世帯について個別訪問を行い、下水道への早期接続を促す。

【平成27年度の事業目標】

三雲管内の下水道接続件数を100件以上とする。

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

11月、12月にシルバー人材センターによる地元訪問を行い、未接続世帯へ下水道の早期接続を促した。平成27年度の接続件数が130件あり、未接続世帯の戸別訪問、下水道の日PR活動などが反映したと思われる。今後も広報、戸別訪問などPR活動により、啓発を行っていきたい。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標	接続件数 100件	接続件数 100件	接続件数 100件
実 績	接続件数 134件	接続件数 129件	接続件数 130件

重点事業 8 浄化槽設置促進事業

【環境生活部環境・エネルギー政策推進課】

基本目標 3. 都市生活型公害及び産業公害の防止と予防

施策テーマ……水質汚濁の防止

【事業内容】

生活排水対策に向けた取り組みとして、市内の住宅でくみ取りまたは単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を行う方に経費の一部を補助する事業であり、広報等による周知・啓発の実施と申請の受付・補助金の交付を行う。

【平成27年度の事業目標】

補助基数（転換）を130基以上とする。

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 **目標未達成**

広報まつさかやホームページ、環境フェアにおける啓発ブースの設置に加え、地区文化祭や出前講座において補助金事業の周知・啓発を行ったが、年度末における交付決定件数は108件（くみ取り52件、単独槽56件）となった。

【次年度以降の改善策等】

従来までに加え、ケーブルテレビを活用するなどして周知・啓発を推進していく。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標	補助基数 新築 300 基 転換 130 基	補助基数 新築 300 基 転換 130 基	補助基数 転換 130 基
実績	補助基数 新築 243 基 転換 131 基	補助基数 新築 217 基 転換 106 基	補助基数 転換 108 基

※転換とは、単独処理浄化槽又は汲み取り便槽の使用を廃し、新たに合併処理浄化槽を設置すること

重点事業 9 浄化槽市町村整備事業

【環境生活部飯南・飯高環境事務所】

基本目標 3. 都市生活型公害及び産業公害の防止と予防

施策テーマ……水質汚濁の防止

【事業内容】

飯南・飯高管内において、市町村設置型の合併処理浄化槽の新設、単独処理浄化槽・し尿汲取り施設から市町村設置型の合併処理浄化槽への転換を進める。

【平成27年度の事業目標】

飯南・飯高管内の合併処理浄化槽の設置を進める。設置基数：50基

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 **目標未達成**

平成27年度の設置基数は36基であり、年度目標の50基には達しなかった。飯南・飯高管内は高齢者世帯が多く、浄化槽の設置については市で行うが、宅内配管等については個人の負担になるため、設置を見送る世帯が多い。

【次年度以降の改善策等】

昨年度同様に飯南ふれあい祭りにて浄化槽の模型を展示、啓発を行ったところ、浄化槽設置申請締切後になる下半期で16基の申請があったため、次年度も同様の啓発を考えている。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標	設置基数 50 基	設置基数 50 基	設置基数 50 基
実績	設置基数 50 基	設置基数 38 基	設置基数 36 基

重点事業 10

歴史的建造物公開事業

【教育委員会事務局文化課】

基本目標 4. 歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり

施策テーマ……歴史文化遺産の保全と活用

【事業内容】

旧長谷川邸等、市内に所在する歴史的建造物の保存や建物・庭園の維持管理及び環境整備を行い、一般・特別公開を実施する。

【平成27年度の事業目標】

旧長谷川邸の公開日数を増やすとともに、保存整備のための補修工事を行う。
公開日数：66日（毎週日曜・祝日）、来場者数：8,000名

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

旧長谷川邸離れ（座敷部）の修理工事について、2月上旬をもって当初実施設計の通り完成。旧長谷川邸の3月末時点における来場者（公開状況）について、フリー公開14,398名（66日）、団体公開1,245名（56団体）、計15,643名となった。今後も、旧長谷川邸の保存整備及び活用に向け、必要な修理工事を検討していく。

	平成27年度
目 標	旧長谷川邸公開日数：66日 来場者数：8,000名
実 績	旧長谷川邸公開日数：66日 来場者数：14,398名

重点事業 1 1 観光施設整備事業

【産業経済部観光交流課】

基本目標 4. 歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり

施策テーマ……歴史文化遺産の保全と活用

【事業内容】

既存の歴史文化施設を活用するため、魚町別館の跡地および旧長谷川邸に隣接する駐車場に観光客のまち歩きを促すための「観光交流拠点施設」を整備するとともに、伝統工芸品の「松阪木綿」の情報を発信する機能を付加するもので、「歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり」に寄与する。

【平成27年度の事業目標】

観光交流拠点施設建設に向け地質調査、展示資料調査、運営基本計画調査、新築工事設計、展示設計を行う。

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

展示調査、設計業務について、文化課委託事業者との策定に向けた調整に加え、各関係団体（市観光協会、市ガイドボランティア友の会、松阪もめん協議会等）等にヒアリングを実施し、整備プロセスに市民参画を図ることで展示調査、設計事務等を実施した。

	平成27年度
目 標	観光交流拠点施設建設に向け地質調査、展示資料調査、運営基本計画調査、新築工事設計、展示設計を行う
実 績	展示調査、設計事務等を実施した

重点事業 1 2 都市景観推進事業

【都市整備部都市計画課】

基本目標 4. 歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり

施策テーマ……個性豊かな美しい景観づくりの推進

【事業内容】

「豊かな景観を次世代に継承するとともに、誇りある景観を新たに創造し、将来の都市像を実現する」ため、一定規模以上の建築等の行為に対する緩やかな規制、次世代を担う小・中学生や景観重点地区（候補）等への啓発活動を行い、「歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり」に寄与する。

【平成 27 年度の事業目標】

景観に対する意識の向上を図るため、景観絵画コンクールや巡回展示、景観重点地区（候補）交流会を行う。

巡回展示：7箇所、景観重点地区（候補）交流会：1回

【平成 27 年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

6月14日に景観重点地区候補である中万町にてまちあるきを行い、54名の参加があった。景観絵画コンクールで応募数が403件あった。巡回展示（4月市役所、5月飯高振興局、6月飯南産業文化センター、7月嬉野公民館、8月三雲公民館、9月飯高駅、10月本居記念館）を行った。12月20日に景観絵画コンクール表彰式を実施し313名の来場があった。2月11日に景観重点地区交流会を行い、24名の参加があった。以上により、景観に対する意識の向上が図られた。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
目 標	「通り本町・魚町一丁目周辺、市場庄地区」の公共施設等に係る修景整備を実施	景観絵画コンクールや巡回展示、景観重点地区交流会を行い、景観に対する意識の向上を図る	巡回展示：7箇所 景観重点地区（候補）交流会：1回
実 績	通り本町・魚町一丁目周辺地区について予定通り完成	景観絵画コンクールや巡回展示、交流会を実施した	巡回展示：7箇所 景観重点地区（候補）交流会：1回

重点事業 1 3

市道松阪公園桜町線道路整備事業

【都市整備部都市計画課】

基本目標 4. 歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり

施策テーマ……個性豊かな美しい景観づくりの推進

【事業内容】

ポケットパーク整備における景観の形成に配慮した工事の実施。景観重点地区である「通り本町・魚町一丁目周辺地区」及び旧長谷川邸に面した道路の整備であることから、「歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり」に寄与する。

【平成27年度の事業目標】

ポケットパーク整備工事を完成させる。

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

平成27年6月9日契約、平成28年1月15日最終変更契約、工期平成27年6月9日～平成28年1月18日で施工し、予定通り完成することができた。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標	市道松阪公園桜町線道路工事を進める	歴史文化的景観の形成に配慮し、市道松阪公園桜町線道路整備を進める	ポケットパーク整備工事を完成させる
実 績	予定通り完成	予定通り完成	予定通り完成

基本目標 4. 歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり

施策テーマ……公園・緑地の整備

【事業内容】

本公園は、市民の運動・レクリエーションに対する要望や、自然環境の大切さ、また高齢化社会へ向けての健康維持を目的とする空間等の整備を行い、芝生広場・多目的グラウンド・多目的広場・展望広場・健康増進具やニュースポーツ等の施設・自然環境を活かしたジョギングコースやデイキャンプ場等の施設整備を行う。

整備範囲として、52.5haの区域の事業認可を受け、事業を行っており、平成24年10月に9.8haを供用開始し、平成26年4月には管理棟と多目的グラウンドの1.6haの供用を開始した。平成26年度までの市民一人当たりの公園面積は9.34㎡。全ての整備を完了すると、約12.0㎡となる。

【平成27年度の事業目標】

総合運動公園の整備を進める。市民一人当たりの公園面積：9.56㎡

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

今年度に進めてきた多目的広場の工事については、平成28年度の供用開始に向け、ほぼスケジュールどおり整備を進めることができた。平成27年度末の市民一人あたりの公園面積は9.39㎡であり、9.56㎡には満たなかったが、これは総合運動公園以外の公園面積が増加しなかったためであり、総合運動公園の工事は予定通り進捗したことから、事業目標は達成とする。課題としては、野外工事であるため、天候等により工程が大きく影響することが挙げられる。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標	整備推進（多目的グラウンド、周辺園路、植栽工）	整備推進（多目的広場、周辺園路、駐車場、植栽工）	総合運動公園の整備を進める
実 績	多目的グラウンドの整備が完了	スケジュールどおり整備を進めることができた	スケジュールどおり整備を進めることができた

重点事業 15 資源物集団回収活動補助金

【環境生活部清掃政策課】

基本目標 5. 循環型地域社会の構築と地球環境の保全

施策テーマ……ごみの減量化と再利用の促進

【事業内容】

ごみの減量化と資源化の施策として、再生利用可能な資源物の集団回収を行い、実績をあげた団体に対し、補助金を交付する。(団体は事前登録が必要)

資源化意識の高揚と団体回収活動の活性化を図り、循環型社会と快適な生活環境の向上に資することを目標とする。

対象品目：新聞紙・雑誌・雑紙・ダンボール・牛乳パックの紙類及び古着、ビン類
※加算補助は紙類のみ

【平成27年度の事業目標】

資源物集団回収量の増加を目指し、補助金交付団体数を増やしていく。

交付団体：320団体

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 **目標未達成**

資源物集団回収活動補助金の交付団体数は318団体で、昨年度と同数であった。補助金の登録団体のうち多くの割合を自治会が占めるために、自治会連合会の会合で補助金制度について説明し、PRを行った。また、今年度、補助金交付要綱を見直し、改正した。

販売店による新聞紙の回収や小売店の店頭での資源物回収の本格化のほかに、新聞紙や雑誌の購買数の減少、資源物自体の軽量化により、市及び補助金の登録団体における資源物の回収量が減少している。

【次年度以降の改善策等】

社会環境の変化による影響が大きいために、現況にあった取り組み目標を設置する必要がある。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標	補助金交付団体数を増やしていく	補助金交付団体数を増やしていく	補助金交付団体数を増やしていく (320団体)
実績	319団体 (前年度比13団体増)	318団体 (前年度比1団体減)	318団体 (前年度比同数)

重点事業 16

環境美化対策事業

【環境生活部環境・エネルギー政策推進課】

基本目標 5. 循環型地域社会の構築と地球環境の保全

施策テーマ……ごみの適正処理

【事業内容】

路上喫煙禁止区域の巡回と清掃活動を行うと共に、「松阪市みんなでまちをきれいにする条例」と「路上喫煙禁止区域」を広く周知することによって、市民等の安全・安心及び快適な生活環境の確保と地域の環境美化推進を図る。

【平成27年度の事業目標】

路上喫煙禁止区域について、年間を通じて状況確認を行う。また、条例と禁止区域を周知するため啓発を行う。

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

路上喫煙禁止区域の指定による周知を、ホームページ、のぼり旗、ポスターにて行った。路上喫煙禁止区域の巡回（清掃作業を含む）を平日は週1回、土・日曜日は月1回（市場庄伊勢街道を除く）行った。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標	（仮称）松阪市環境美化条例を制定し、路上喫煙防止地区を指定する	「松阪市みんなでまちをきれいにする条例」を広く周知する	路上喫煙禁止区域について、年間を通じて状況確認を行う 条例と禁止区域を周知するため啓発を行う
実績	「松阪市みんなでまちをきれいにする条例」として議案を上程し、12月17日に制定された	ホームページ・報道機関等を通して周知した	禁止区域の巡回及びホームページ等による啓発を実施

重点事業 17

木質バイオマス有効活用対策事業補助金

【産業経済部林業・農山村振興課】

基本目標 5. 循環型地域社会の構築と地球環境の保全

施策テーマ……省エネルギー・新エネルギーの推進

【事業内容】

木質バイオマスの原料として有効活用する取組みとして間伐材等の運搬に支援を行うことにより新エネルギーの推進につなげる。

【平成27年度の事業目標】

木質バイオマス発電用間伐材等に支援を行う。補助間伐材量：7,000t

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

国では、節電・省エネルギーの一つとしてバイオマスによる発電や熱利用などさまざまな施策への取り組みを求めている。

このような背景から、市として未利用間伐材等を再生可能エネルギーとして有効活用し、新エネルギーの推進を図るため、継続して事業を実施していく必要がある。
(補助間伐材量：14,000t)

	平成27年度
目標	補助間伐材量：7,000t
実績	補助間伐材量：14,000t

重点事業 18

地球温暖化対策率先実行計画の運用

【環境生活部環境・エネルギー政策推進課】

基本目標 5. 循環型地域社会の構築と地球環境の保全

施策テーマ……地球温暖化の防止

【事業内容】

「環境に配慮した事務事業活動」の確立を目指し、環境マネジメントシステムの継続的な運用を行う。地球温暖化対策推進法第20条の3に基づき策定した「松阪市地球温暖化対策率先実行計画（エコフィスアクションプログラムまつさか）第3期計画」に従い、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減などの「環境に配慮した事務事業活動」を推進し、市有施設における温室効果ガス排出量を平成28年度までに平成22年度実績比6%削減する。

【平成27年度の事業目標】

市有施設における温室効果ガス排出量を平成22年度実績比5%削減する。
温室効果ガス排出量：5%削減

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

「エコフィス・ニュース」を毎月発行し、職員意識の啓発を実施した。また、Matsusaka-EMS の取組みにおいて、環境管理推進員研修及び職場研修を実施した。平成26年度の温室効果ガス排出状況を、ホームページで公開した。平成27年度の温室効果ガス排出量は平成22年度比で11.0%の削減となった。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標	平成22年度比3%削減	平成22年度比4%削減	平成22年度比5%削減
実績	平成22年度比7.2%削減	平成22年度比8.3%削減	平成22年度比11.0%削減

重点事業 19 環境パートナーシップ会議事業

【環境生活部環境・エネルギー政策推進課】

基本目標 6. 環境教育・環境学習の充実と仕組みづくり

施策テーマ……パートナーシップの仕組みづくり

【事業内容】

「うるおいある豊かな環境につつまれるまちまつさか」をめざすべき環境像として、市民・市民団体・事業者・行政が対等な関係を結び、それぞれ得意分野を生かしながら、協働して環境にやさしい行動を実践するための組織づくりを進める。

【平成27年度の事業目標】

自立し発展する組織を目指すため、会員数を増やし、組織の成長を図る。
会員数：53個人・団体

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 **目標未達成**

年間を通して、緑のカーテン用苗の配布、緑のカーテン育て方講座、環境フェア、会員学習会などを実施した。平成27年度は、市民活動センター登録団体向けに環境パートナーシップ会議についてのアンケートを実施し、4会員の増加につながった。しかし、目標とする53個人・団体には及ばず、48個人・団体となった。

【次年度以降の改善策等】

環境パートナーシップ会議の活動だけでなく、市の事業活動を通じて会議の周知を図り、会員の増加に努める。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標	46個人・団体	46個人・団体	53個人・団体
実績	40個人・団体	44個人・団体	48個人・団体

基本目標 6. 環境教育・環境学習の充実と仕組みづくり

施策テーマ……環境教育・環境学習の推進

【事業内容】

環境保全のために行動することを宣言し、そのための計画を教職員・幼児・児童・生徒が立案し、これに基づき積極的に行動、点検、見直しを行う。

- 園内・校内における節電、節水、リサイクル等の取組
- クリーン活動
- 児童会・生徒会等による環境啓発
- 緑のカーテンの設置
- 環境に関する学習

【平成27年度の事業目標】

学校環境 ISO の認定校の更新を 17 校・20 園行う

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

学校環境 ISO の更新を 16 校・20 園、行った。年度目標は 17 校となっていたが、1 校については統合されるため、認定校の更新を行わなかった。
各幼稚園・小学校・中学校での環境教育は定着しており、それぞれの特色を活かしながら、PDCA サイクルにより取り組みを進めた。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
目 標	17 校、20 園更新	31 校更新	17 校、20 園更新
実 績	17 校、20 園更新	31 校更新	16 校、20 園更新

重点事業 2 1 森林環境学習事業

【産業経済部林業・農山村振興課】

基本目標 6. 環境教育・環境学習の充実と仕組みづくり

施策テーマ……環境教育・環境学習の推進

【事業内容】

小学生を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境教育を実施する。

【平成27年度の事業目標】

環境教育・環境学習の推進を図るため、森林環境保全や森林整備に関する森林環境学習教室を実施する。

【平成27年度の事業実施結果及び事業担当課自己評価】 目標達成

環境教育・環境学習の推進を図るため、森林環境保全や森林整備に関する森林環境学習を南小学校・豊地小学校を対象に実施した。次年度以降も、環境教育・環境学習の推進を図るため、継続して実施していく必要がある。

	平成26年度	平成27年度
目標	環境教育・環境学習の推進を図るため、森林環境保全や森林整備に関する森林環境学習教室を実施する	森林環境学習：2校
実績	森林環境学習を松ヶ崎小学校を対象に実施した	2校（南小学校・豊地小学校）

第4章 環境基本計画関連事業一覧

平成27年度時点における、環境基本計画関連事業の一覧を次ページ以降に掲載しています。

これらの事業の中から、

- ① 「松阪市環境基本計画」の環境目標に関連性の高い事業
- ② 長期的に実施する事業で、「松阪市環境基本計画」の基本目標の達成に効果的な事業

の2点のいずれかに該当する事業を中心に、重点事業（表中「重点事業」の欄に「○」がつけられている事業）を選定しています。

平成27年度における環境基本計画関連事業一覧表

【基本目標 1. 健全な水循環の回復と維持】

施策テーマ(1) 森林の保全と林業の活性化

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
林業基盤の整備	小規模な森林の団地化、森林管理作業の協業化の促進 《いきいき松阪の森づくり事業補助金》	林業・農山村振興課		継続中	
	林道・作業道等の維持管理の実施 《林道・作業道等維持管理事業》	林業・農山村振興課		継続中	
	林道整備の実施 《林道整備交付金事業》	林業・農山村振興課		継続中(中断あり)	
林業の経営安定の推進	地域材を活用した木造住宅の建築支援 《「まつさかの木」を使用したワクワク快適な家づくり事業補助金》	林業・農山村振興課		継続中	
	地域材及びあかね材の販路拡大 《みなと森と水ネットワーク促進事業》	林業・農山村振興課		26	~
森林保全に向けた取り組みの推進	ふれあいの場としての森林の活用 《森林公園管理運営事業》	林業・農山村振興課		継続中	
	森林の公益的機能増進を目的とした環境林における間伐等の実施 《森林環境創造事業》	林業・農山村振興課	○	継続中	
	農林作物被害防止のための有害鳥獣対策の実施 《有害鳥獣対策事業》	林業・農山村振興課		継続中	
	農林作物被害防止のための有害鳥獣対策の実施 《有害鳥獣捕獲補助金》	林業・農山村振興課		継続中	
	農林作物被害防止のための有害鳥獣対策の実施 《有害鳥獣防護柵設置補助金》	林業・農山村振興課		継続中	
	水源林の造成 《森林総合研究所分収造林事業》	林業・農山村振興課		継続中	
	集落や公共施設周辺の森林整備 《里山の森林安全安心対策事業》	林業・農山村振興課	○	26	~
	分収育林制度をもとにした都市住民との交流の実施 《飯南希望の森づくり事業育林事業》	飯高地域整備課		~	28
	分収育林制度をもとにした都市住民との交流の実施 《飯高ふるさとの森管理事業》	飯高地域整備課		~	28

施策テーマ(2) 良好な水辺空間の形成

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
環境に配慮した河川等の整備	周辺環境に調和した河川の整備 《河川改良単独事業》	土木課		継続中	
	自然環境を保全し生態系に配慮したため池等の整備 《県営ため池等整備事業負担金》	農村整備課		継続中	

【基本目標 2. 多様な生態系と自然環境の保全及び回復と動植物の保護】

施策テーマ(1)生物多様性と貴重な動植物の生息・生育環境の保全

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
貴重な動植物の生息・生育環境の保護	松阪ネイチャーマップによる情報提供 《松阪ネイチャーマップ活用事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	地域における貴重植物の保護 《嬉野宇気郷やまゆり保存事業(地域づくり支援事業補助金)》	嬉野地域振興課		継続中	
	天然記念物「ネコギギ」の保護意識の向上、自然環境の保全 《未来へつなぐネコギギの里事業》	嬉野地域振興課	○	24	～
	「松阪市開発行為に関する環境保全条例」に基づく審議会の開催 《環境保全審議会事業》	環境・エネルギー政策推進課		随時開催	
	指定天然記念物のパトロールなどによる保護の実施 《天然記念物保存事業》	文化課		継続中	
緑地・里山等の保全	集落や公共施設周辺の森林整備 《里山の森林安全安心対策事業》	林業・農山村振興課	○	26	～
自然体験学習の推進	天然記念物「ネコギギ」の保護意識の向上、自然環境の保全 《未来へつなぐネコギギの里事業》	嬉野地域振興課	○	24	～

施策テーマ(2)自然環境に配慮した農業・漁業の促進

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
環境と調和のとれた農業の推進	環境との調和に配慮したほ場整備の実施 《県営経営体育成基盤整備事業負担金》	農村整備課		継続中	
	都市と農村の交流施設「松阪農業公園ベルファーム」の運営管理 《ベルファーム施設管理事業》	農水振興課		継続中	
	都市と農村の交流施設「飯高駅」の運営管理 《飯高地域資源活用交流施設管理事業》	飯高地域整備課		継続中	
環境に配慮した漁業の推進	水産資源の保護増殖を目的とした稚魚放流事業に対する支援の実施 《稚鮎等放流事業補助金》	農水振興課		継続中	
	水産資源の保護増殖を目的とした川鵜駆除事業に対する支援の実施 《川鵜対策事業》	農水振興課		継続中	
	水産資源の保護増殖を目的とした魚介類の放流、海底耕うん作業による採貝漁場の底質改善の実施 《水産資源増殖事業》	農水振興課		継続中	
	水産資源の保護増殖を目的とした稚貝の放流、海底耕うん作業による採貝漁場の底質改善の実施 《アサリ資源増殖事業》	農水振興課		20	～
	水源林の造成 《森林総合研究所分収造林事業》	林業・農山村振興課		継続中	

【基本目標 3. 都市生活型公害及び産業公害の防止と予防】

施策テーマ(1)大気汚染の防止

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
事業所等からの大気汚染対策	大気環境調査の実施《大気環境調査事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	事業場での排ガス等調査の実施による公害防止の監視指導《事業場調査事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
環境にやさしい交通体系の整備	市街地循環バス「鈴の音バス」の運行《市街地循環バス運行事業》	交通政策室	○	継続中	
	コミュニティバスの運行《地域バス等交通システム事業》	交通政策室		継続中	
環境に配慮した自動車利用	広報等によるエコドライブの普及啓発の実施《広報啓発事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	

施策テーマ(2)水質汚濁の防止

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
生活排水処理施設の整備促進	本庁管内における公共下水道の整備促進《関連公共下水道事業》	下水道建設課	○	継続中	
	嬉野管内における公共下水道の整備促進《関連公共下水道事業》	北部上下水道事務所	○	継続中	
	三雲管内における公共下水道の整備促進《関連公共下水道事業》	北部上下水道事務所	○	継続中	
	本庁管内における農業集落排水事業の実施《農業集落排水事業(小野、高木)》	農村整備課		継続中	
	嬉野管内における農業集落排水事業の実施《農業集落排水事業(須賀・川北クリーンセンター)》	嬉野地域整備課		継続中	
	三雲管内における農業集落排水事業の実施《三雲農業集落排水管理事業》	三雲地域整備課		継続中	
	補助制度による合併処理浄化槽の設置促進《浄化槽設置促進事業》	環境・エネルギー政策推進課	○	継続中	
生活排水対策に関する啓発	飯南・飯高管内における合併処理浄化槽の整備の実施《浄化槽市町村整備事業》	飯南・飯高環境事務所	○	継続中	
	啓発物品配布等による生活排水対策に関する啓発活動の実施《環境啓発活動事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
事業所排水による水質汚濁の防止	「生活排水対策推進協議会」による排水の汚濁負荷低減のための啓発活動の実施《生活排水対策推進協議会事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	事業場での排水調査の実施による公害防止の監視指導《事業場調査事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	水質環境調査の実施《水質環境調査事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	

施策テーマ(3)有害化学物質への対応

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
有害化学物質による地下水汚染への対策	地下水調査の実施 《水質環境調査事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	事業場での地下水調査、土壌調査の実施による公害防止の監視指導 《事業場調査事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
ダイオキシン類等の対策の推進	大気におけるダイオキシン類調査の実施 《大気環境調査事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	公共用水域におけるダイオキシン類調査の実施 《水質環境調査事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	

施策テーマ(4)騒音・振動及び悪臭の防止

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
事業所に対する騒音、振動対策	事業場での騒音・振動調査の実施による公害防止の監視指導 《事業場調査事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
環境騒音、道路交通振動への対応	環境騒音、交通振動調査の実施 《騒音・振動調査事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
悪臭への対応	事業場での臭気調査の実施による公害防止の監視指導 《事業場調査事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	県と連携した家畜ふん尿等の適正管理・リサイクルの推進 《畜産農家指導事業》	農水振興課		継続中	

施策テーマ(5)近隣公害への対応

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
ごみの野外焼却の抑制	野焼き等の不適切な焼却に対する中止指導の実施 《近隣公害対策指導事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
動物の適正な飼養の推進	ペットによるふん害防止啓発の実施 《動物愛護推進事業》	環境・エネルギー政策推進課		26	～

【基本目標 4. 歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり】

施策テーマ(1)歴史文化遺産の保全と活用

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
歴史文化的景観の保全と活用	景観計画の推進、行為の届出制度の運用 《都市景観推進事業》	都市計画課		継続中	
	歴史的町並みの保存活用を目的とした生垣の維持整備に対する補助の実施 《殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金》	文化課		継続中	
	民間が所有する国、県、市の指定文化財の保存修理に対する支援の実施 《文化財保存整備事業補助金》	文化課		継続中	
	御城番屋敷、原田二郎旧宅、旧長谷川邸等、市内に所在する歴史的建造物の保存や建物・庭園の維持管理及び環境整備を行い、一般・特別公開を実施 《歴史的建造物公開事業》	文化課	○	継続中	
	国指定史跡松坂城跡の維持活用及び整備の実施 《松坂城跡保存整備事業》	文化課		26	～
	市所有の指定文化財の保存修理 《指定文化財保存修理事業》	文化課		24	～
	旧長谷川邸の保存管理方針の策定 《長谷川家文化財専門委員会事業》	文化課		25	～
名勝、天然記念物の保存と回復	指定天然記念物のパトロールなどによる保護の実施 《天然記念物保存事業》	文化課		継続中	
	天然記念物「ネコギギ」の保護意識の向上、自然環境の保全 《未来へつなぐネコギギの里事業》	嬉野地域振興課	○	24	～
文化財の保護と活用	指定史跡等の管理の実施 《史跡等管理事業》	文化課		継続中	
	民間が所有する国、県、市の指定文化財の保存修理に対する支援の実施 《文化財保存整備事業補助金》	文化課		継続中	
	御城番屋敷、原田二郎旧宅、旧長谷川邸等、市内に所在する歴史的建造物の保存や建物・庭園の維持管理及び環境整備を行い、一般・特別公開を実施 《歴史的建造物公開事業》	文化課	○	継続中	
	国指定史跡松坂城跡の維持活用及び整備の実施 《松坂城跡保存整備事業》	文化課		26	～
	市所有の指定文化財の保存修理 《指定文化財保存修理事業》	文化課		24	～
	旧長谷川邸の保存管理方針の策定 《長谷川家文化財専門委員会事業》	文化課		25	～
生活文化や伝統文化の継承と振興	市指定史跡八田城山の保存整備 《嬉野八田城山保存整備事業》	嬉野地域振興課		継続中	
	地域の指定無形民俗文化財の保存活動への支援実施 《無形民俗文化財保存活用補助金》	文化課		継続中	
	まちなかに点在する本市の魅力(歴史・文化・食等)を一覧できる観光交流拠点施設の整備により各観光施設等へのガイド機能の充実を図る 《観光施設整備事業費》	観光交流課		27	28

施策テーマ(2)個性豊かな美しい景観づくりの推進

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
魅力ある農山漁村景観の形成	景観計画の推進、行為の届出制度の運用 《都市景観推進事業》	都市計画課		継続中	
快適な都市景観の形成	景観計画の推進、行為の届出制度の運用 《都市景観推進事業》	都市計画課		継続中	
	屋外広告物に対する適切な規制・誘導の実施 《屋外広告物事業》	都市計画課		継続中	
「松阪らしさ」のある歴史文化的景観の形成	ポケットパーク整備における景観の形成に配慮した工事の実施 《市道松阪公園桜町線道路整備事業》	都市計画課	○	25	27
	歴史的町並みの保存活用を目的とした生垣の維持整備に対する補助の実施 《殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金》	文化課		継続中	
	民間が所有する国、県、市の指定文化財の保存修理に対する支援の実施 《文化財保存整備事業補助金》	文化課		継続中	
	既存の歴史文化施設を活用するため、魚町別館の跡地および旧長谷川邸に隣接する駐車場に観光客のまち歩きを促すための「観光交流拠点施設」を整備する 《観光施設整備事業費》	観光交流課		27	28
制度を利用した景観の形成	景観計画の推進、重点地区の指定に向けた取組の実施 《都市景観推進事業》	都市計画課		継続中	
市民等との協働による景観の形成	良好な景観づくりに向けた市民、事業者、行政が協働できる体制の整備、市民の景観意識の高揚を目的とした啓発活動の実施 《都市景観推進事業》	都市計画課		継続中	

施策テーマ(3)公園・緑地の整備

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
公園・緑地の整備	スポーツ・レクリエーションの拠点となる総合運動公園の整備 《総合運動公園建設事業》	土木課	○	継続中	
	老朽化した都市公園施設の修繕等の実施 《都市公園整備事業》	土木課		継続中	
緑地の保全と緑化の推進	公共施設等への苗木の配布 《緑化推進事業》	林業・農山村振興課		継続中	
緑化意識の啓発の推進	花の種・球根の配布による緑化意識の啓発の実施 《都市緑化啓発事業》	土木課		継続中	

施策テーマ(4)誰にでもやさしい空間づくりの推進

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
交通、施設におけるバリアフリーの推進	ポケットパーク整備におけるバリアフリーに配慮した工事の実施 《市道松阪公園桜町線道路整備事業》	都市計画課	○	25	27
	鉄道事業者または軌道経営者が行う、松阪市内の駅におけるバリアフリー化設備整備事業に要する経費の一部を補助する 補助対象経費の1/6の額 《交通施設バリアフリー化設備整備補助金》	交通政策室		27	28
バリアフリーのまちづくりの推進	「松阪市民バリアフリー推進チーム」による施設等のバリアフリー化推進のための現地調査の実施 《バリアフリーのまちづくり活動事業》	福祉ささえあい課		継続中	

【基本目標 5. 循環型地域社会の構築と地球環境の保全】

施策テーマ(1)ごみの減量化と再利用の促進

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
ごみの減量化と再使用・再資源化の推進	嬉野管内における市民参加によるごみゼロ運動の実施 《うれしのを美しくする運動事業》	嬉野地域住民課		継続中	
	資源物の土・日・祝日受付実施による再資源化の促進 《リサイクル事業》	清掃政策課		継続中	
	小学生用小冊子の作成、ごみ減量啓発イベントの実施、指定ごみ袋制の実施 《ごみ減量対策事業》	清掃政策課		継続中	
	行政、市民、市民団体、事業者の協働によるマイバッグ持参運動の実施 《マイバッグ持参運動事業》	環境・エネルギー政策推進課		20	～
	三雲リサイクルセンターの運営管理 《三雲リサイクルセンター管理事業費》	三雲地域住民課		継続中	
	タブレット型端末を利用したペーパーレス会議システムの導入を行う 《ペーパーレス会議システム導入事業費》	情報企画課		27	～
市民・事業者のごみ減量、再資源化への取り組みの支援	資源物の集団回収活動に対する支援の実施 《資源物集団回収活動補助金》	清掃政策課	○	20	～
	生ごみ堆肥化の実施(飯南地区) 《飯南・飯高ごみ減量推進事業》	飯南・飯高環境事務所		27	～
	資源物回収拠点の整備と維持管理(飯高地区) 《飯南・飯高ごみ減量推進事業》	飯南・飯高環境事務所		27	～
	工場見学や出前講座等によるごみの発生抑制・適正な分別等の啓発活動の実施 《広報啓発事業》	清掃政策課		継続中	
	ごみ減量化、資源化・3Rなどの啓発活動の実施 《環境啓発交流事業》	清掃政策課		23	～
	資源物の土・日・祝日受付実施による再資源化の促進 《リサイクル事業》	清掃政策課		継続中	
	小学生用小冊子の作成、ごみ減量啓発イベントの実施、指定ごみ袋制の実施 《ごみ減量対策事業》	清掃政策課		継続中	
	補助制度による堆肥化容器と生ごみ処理機の普及促進 《生ごみ堆肥化容器等購入補助金》	清掃政策課		継続中	
市内全域のごみ処理の一元化、循環型社会形成推進(3Rの推進)等に対応したごみ処理施設の整備 《ごみ処理基盤施設建設事業》	清掃政策課		20	～	

施策テーマ(2)環境産業の育成

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
環境産業の誘致・集積	環境関連産業の誘致の推進 《企業誘致推進事業》	企業連携誘致推進室		継続中	

施策テーマ(3)ごみの適正処理

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
ごみ処理施設の計画的な整備の推進	松阪市クリーンセンターの適切な維持管理 《不燃物処理事業(施設維持管理を含む)》	清掃事業課		継続中	
	松阪市クリーンセンターの適切な維持管理 《焼却事業(施設維持管理を含む)》	清掃施設課		継続中	
	最終処分場の適切な維持管理 《最終処分場事業》	清掃施設課		継続中	
	旧ごみ処理施設跡地の有効活用等、リサイクル施設の整備計画の実施 《ごみ処理基盤施設建設事業》	清掃政策課		20	~
ごみの収集業務の円滑化	ごみ収集業務の円滑的な実施 《塵芥収集事業》	清掃事業課		継続中	
ごみの不法投棄の防止	ごみの不法投棄の防止対策の実施 《塵芥収集事業》	清掃事業課		継続中	
	嬉野自治会連合会等が実施する不法投棄パトロールへの支援 《自治会連合会不法投棄パトロール事業》	嬉野地域振興課		継続中	
	嬉野管内における市民参加によるごみゼロ運動の実施 《うれしのを美しくする運動事業》	嬉野地域住民課		継続中	
	「松阪市みんなでまちをきれいにする条例」による快適な生活環境の確保と地域の環境美化の推進 《環境美化対策事業》	環境・エネルギー政策推進課	○	25	~

施策テーマ(4)省エネルギー・新エネルギーの推進

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
家庭における省エネルギーへの取り組みの促進	広報、ホームページ等での省エネルギーに関する行動事例の紹介 《広報啓発事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
率先した省エネルギーへの取り組み	Matsusaka-EMSに基づく率先した省エネルギーの取り組みの実施 《Matsusaka-EMS運用事業》	環境・エネルギー政策推進課		23	~
	地球温暖化対策率先実行計画に基づく率先した省エネルギーの取り組みの実施 《地球温暖化対策率先実行計画の運用》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	庁舎内に設置する複合機を必要最小限度に置き換えていく 《複合機統合事業》	総務課		27	~
	本庁、分館、振興局等に多数存在する情報系プリンタを複合機に置き換えるとともに必要最小限度のプリンタを整備することで、全体台数を順次削減し、最適管理によるコスト削減とワークスペースの確保を目指す 《プリンター統合事業費》	情報企画課		27	~
地域資源を活用した新エネルギーの創造	「バイオマス活用推進計画」に基づき、市内に賦存する有機性資源エネルギーの活用による自立・分散型エネルギー供給体制の構築 《バイオマス・シティプロジェクト推進事業》	環境・エネルギー政策推進課		25	~
	松阪産材で木質バイオマスの原料に有効活用する取組みとしてその間伐材等の運搬に対する支援 《木質バイオマス有効活用対策事業補助金》	林業・農山村振興課	○	26	~

施策テーマ(5)地球温暖化の防止

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
二酸化炭素の排出削減に向けた総合的な取り組みの推進	「バイオマス活用推進計画」に基づき、市内に賦存する有機性資源エネルギーの活用による自立・分散型エネルギー供給体制の構築 《バイオマス・シティプロジェクト推進事業》	環境・エネルギー政策推進課		25	～
二酸化炭素の排出削減に向けた率先取り組みの推進	「松阪市地球温暖化対策率先実行計画」に基づく市の事務事業における二酸化炭素排出削減に向けた取組の実施 《地球温暖化対策率先実行計画の運用》	環境・エネルギー政策推進課	○	継続中	
二酸化炭素の排出量削減に向けた仕組みの構築	行政、市民、市民団体、事業者の協働による二酸化炭素排出量の削減に向けた仕組みづくりの検討 《環境パートナーシップ会議事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	行政、市民、市民団体、事業者の協働によるマイバッグ持参運動の実施、レジ袋収益金を活用した緑のカーテン用苗等の配布 《マイバッグ持参運動事業》	環境・エネルギー政策推進課		20	～

【基本目標 6. 環境教育・環境学習の充実と仕組みづくり】

施策テーマ(1)パートナーシップの仕組みづくり

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
環境保全に向け各主体が協働できる体制の整備	行政、市民、市民団体、事業者の協働による「松阪市環境パートナーシップ会議」の設置及び推進 《環境パートナーシップ会議事業》	環境・エネルギー政策推進課	○	継続中	
	行政、市民、市民団体、事業者の協働によるマイバッグ持参運動の実施 《マイバッグ持参運動事業》	環境・エネルギー政策推進課		20	～
	パートナーシップを深め、認識、協力、協働体制づくりの促進 《環境啓発交流事業》	清掃政策課		23	～
環境に関する情報提供の充実	環境報告書の作成、広報、ケーブルテレビ、ホームページ等による環境情報の提供 《広報啓発事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	

施策テーマ(2)環境教育・環境学習の推進

施策の内容	事業内容《事業名》	担当部署(課)	重点事業	事業スケジュール	
				開始年度	終了年度
環境教育・環境学習機会の充実	小中学校における総合的な学習の時間等での環境学習の実施 《特色ある学校づくり推進事業》	学校支援課		継続中	
	幼稚園、小中学校における学校版環境ISOによる環境学習の実施 《学校エコチャレンジ事業》	学校支援課	○	継続中	
	幼稚園、小中学校における「学校環境デー(6月5日)」を中心とした環境保全の取組の実施 《学校環境デー事業》	学校支援課		継続中	
	公民館講座等における環境学習の機会の提供 《生涯学習振興事業》	いきがい学習課		継続中	
	市職員への環境意識啓発の実施 《Matsusaka-EMS運用事業》	環境・エネルギー政策推進課		23	～
	市職員への環境意識啓発の実施 《地球温暖化対策率先実行計画の運用》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	親子環境学習会の開催 《環境保全事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	ごみ減量化・資源化・3Rなどの環境学習の促進 《環境啓発交流事業》	清掃政策課		23	～
	小学生を対象とした森林環境教育の実施 《森林環境学習事業》	林業・農山村振興課	○	26	～
	地域の史跡や名所の環境教育・環境学習の推進 《街をもっとすてきに 歩いてきれいに、走って美しく クリーンウォーキングin嬉野》	嬉野地域振興課		27	27
人材の育成及び体制の整備	地域における環境教育・環境学習のリーダーの育成に向けた体制の整備 《環境パートナーシップ会議事業》	環境・エネルギー政策推進課		継続中	
	3Rを推進する市民交流活動、団体育成の促進 《環境啓発交流事業》	清掃政策課		23	～

※事業スケジュールについて:

「継続中」 : 平成19年度以前に開始し、28年度以降も引き続き行われるもの

開始年度「～」 : 平成19年度以前に開始

終了年度「～」 : 平成28年度以降も実施

松阪市の環境
—松阪市環境基本計画年次報告書—
平成 27 年度版

- 発行年月 平成 28 年 11 月
- 発行 三重県松阪市
- 編集 松阪市環境生活部環境・エネルギー政策推進課
〒515-8515 三重県松阪市殿町 1340 番地 1
TEL: 0598-53-4425 FAX: 0598-26-4322
<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>
E-mail: kan.div@city.matsusaka.mie.jp